

CPジョイント

理由あり 逆流防止壁/制振リブ

逆流防止壁



大便器排水の逆流を防止するため、雑排水受け口には、逆流防止壁が設けてあります。

制振リブ

排水騒音の低減をはかるため、制振リブが設けてあります。



振動抑制の3つの秘訣

1. 排水が継手内に流入した際に発生する振動を抑制するため、胴部に「制振リブ」が設けてあります。
2. 継手内部に設けられている「減速ガイド」・「旋回ガイド」は、羽根板でなく、継手胴部を外側から凹めた「断面くの字形状」にしたことによって、羽根板に比べ、格段に剛性を高めました。
3. 「逆流防止壁」が、「制振リブ」の効果も果たします。

加振実験による効果の確認

供試体の中間継手をワイヤーで吊り下げ、ランダム信号発生器で発生させた信号を加振器に入力して加振させる。このときの加振力を力変換器で計測し、応答は加速度計で計測する。加振力と加速度応答を2ch.FFTアナライザーに取り込み、周波数応答関数を求め、周波数応答関数からパーシャルオーバーオール値(Partial Over All (=POA値))を求める。このときの周波数領域は1kHz~6kHzである。応答測定位置を順次移動させてPOA値を求め振動モード形を求める。

